

工事説明書

コンビネーションレンジ

型式名 GMO-S3900

M・V対応型

ガス高速オーブン

型式名 GR-S3900

出荷高さ：490mm

■工事される方へのお願い・・・この「工事説明書」を設置工事前に必ずお読みください。

○設置工事が終わりましたら（設置工事後の点検確認）のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。

設置工事後の点検確認

不備があると、感電・火災・ガス漏れなど思いがけない事故の原因になります。

●チェックリスト

点検項目	点検内容	参照ページ	チェック	
機器及びその周辺	ガス種・電源	銘板は使用するガス種・電源と適合していますか。	2	
	同こん部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	4	
	可燃物との隔離距離	可燃物との隔離距離・火災予防の措置は十分ですか。	3	
	設置条件	障害物等との隔離距離は十分ですか。	3	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	3	
	水平設置	水平に設置されていますか。	3	
	安定設置	強固に設置され、ガタツキはありませんか。	3	
	機器高さ	高さの微調整によるコンロとのスキ間は適切ですか。	5~6、10~11	
	給排気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	3	
ガス配管・電気工事	接続は正しく施工され、ガス漏れなどはありませんか。	7~9		
ラベル貼付	接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼付しましたか。			
その他	オーブン庫内に付属部品が残っていませんか。			

試運転



1. 取扱説明書の「使いかた」に基づいて試運転を行ってください。
2. 試運転終了後及び長期間使用しないときはガス栓を閉じてください。また専用ブレーカーの場合はブレーカーを切ってください。※ブレーカーを切る場合は本機器専用ブレーカーであることを確認してください。

お客様への取扱説明

1. 取扱説明書によって、機器の取扱いを説明してください。
2. 試運転終了後、保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入のうえ、お客様に渡していただき、保管のお願いをしてください。

安全に正しく使用していただくために

- ここに示した注意事項は機器を正しく安全に設置していただき、設置作業員及び機器を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
- 誤った設置により生じる危害・損害の程度をつぎのように区分しています。

	警告	作業を誤った場合に設置作業員または、設置後の製品の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	作業を誤った場合に設置作業員または、設置後の製品の不具合によって、使用者が重傷を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1. 設置工事をされる方へ



- この「工事説明書」に従い、有資格者による正しい設置を行ってください。
- 建築基準法、各都市の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準及び実施指針」（日本ガス機器検査協会刊）、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」に従ってください。
- 誤って不適応なビルトインコンロと接続された場合、重大な事故の原因になります。この機器は、必ず当社指定のビルトインコンロと接続してください。もしオープン単独で使用されますと、ビルトインコンロとの接続用フレキ管のゴムキャップ部からガス漏れしたり、機器の排熱によりキャビネットが損傷するなどの事故の原因となります。

⚠ 注意

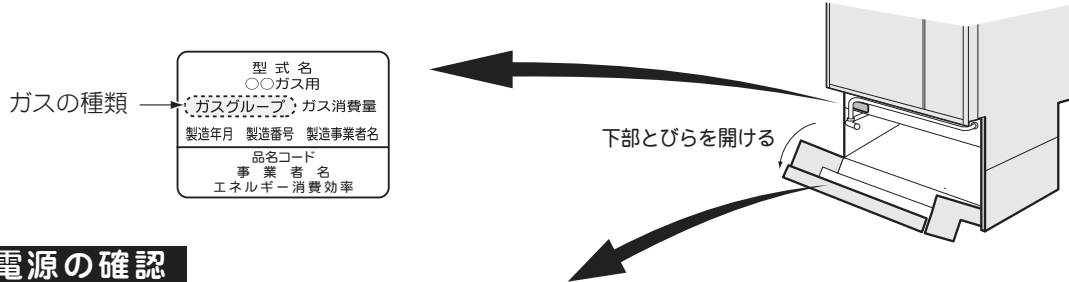
設置前の注意

1. 機器の確認

機器の下部とびらをあげ、本体正面左下部に貼ってある銘板（ガスの確認）及び下部とびらの内側に貼ってある銘板（電源の確認）の表示内容を確認してください。

ガスの確認

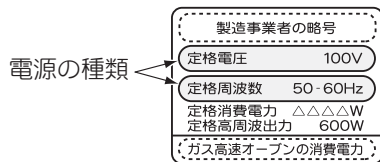
- ガス種と使用するガス（ガスグループ）の種類が適合していること。



電源の確認

- 電源（電圧・周波数）と使用する電源とが適合していること。（周波数は50Hz・60Hz共通仕様になっています。）

コンビネーションレンジタイプ



ガス高速オープンタイプ



2. 配管等の確認

ガス栓が、機器設置後でも手前側から開閉できることを確認してください。

3. 設置工事後の点検項目の確認

まず **設置工事後の点検確認** を理解してから次へ進んでください。

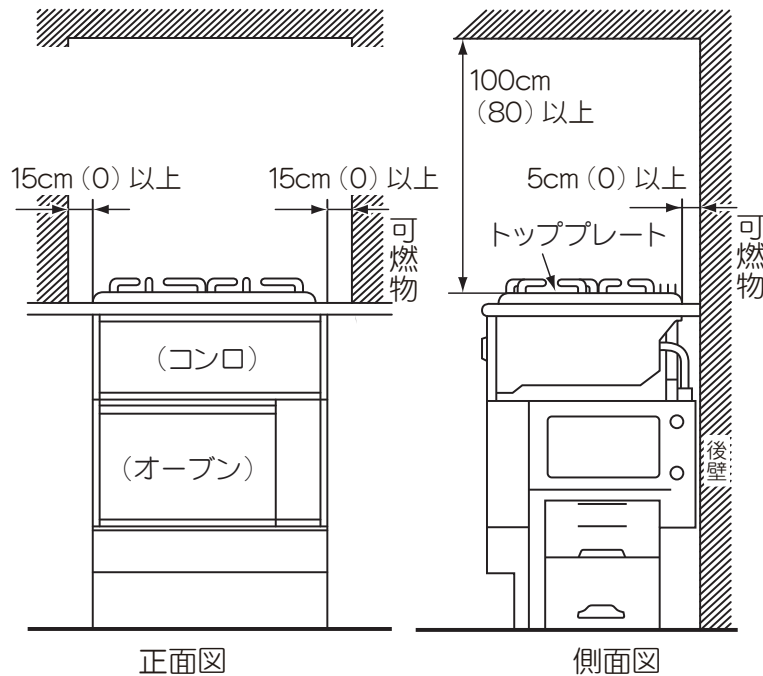
⚠ 注意

設置場所の確認

設置工事を始める前に、次のことを確認してください。

1. 火災予防上について

- ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性危険物を扱う場所には設置しないでください。
- 火災予防条例及びガス機器防火評定に準じ、周囲に木製のような可燃物がある場合は、トッププレートより上の後面は5cm以上、上面はトッププレート上面より100cm以上、側面は15cm以上離して設置してください。ただし、設置するビルトインコンロによっては離隔距離が異なる場合があります。ビルトインコンロ側の「工事説明書」を参照し、コンロとオープンの両方を満足する壁との距離を確保してください。
- 本体の一部が家屋の壁面（後壁）のラスに触れたり、水切りカバー・壁の防熱板に接触するおそれのある場合は、絶縁テープなどで電氣的に接触しないようにしてください。（電気設備技術基準167条により義務づけられています）



※ () 内は防熱板や不燃性の壁を取り付けた場合の寸法

2. 給排気について

- 換気（給気、排気）が十分出来る設備（換気扇、換気口など）があるところに設置してください。

3. 設置場所の周囲について

- テレビやラジオなどの雑音映像の乱れを防ぐため、テレビ・ラジオなどは3m以上離してください。
- 棚の下など落下物の危険があるところ、及び樹脂製の照明器具の下には設置しないでください。

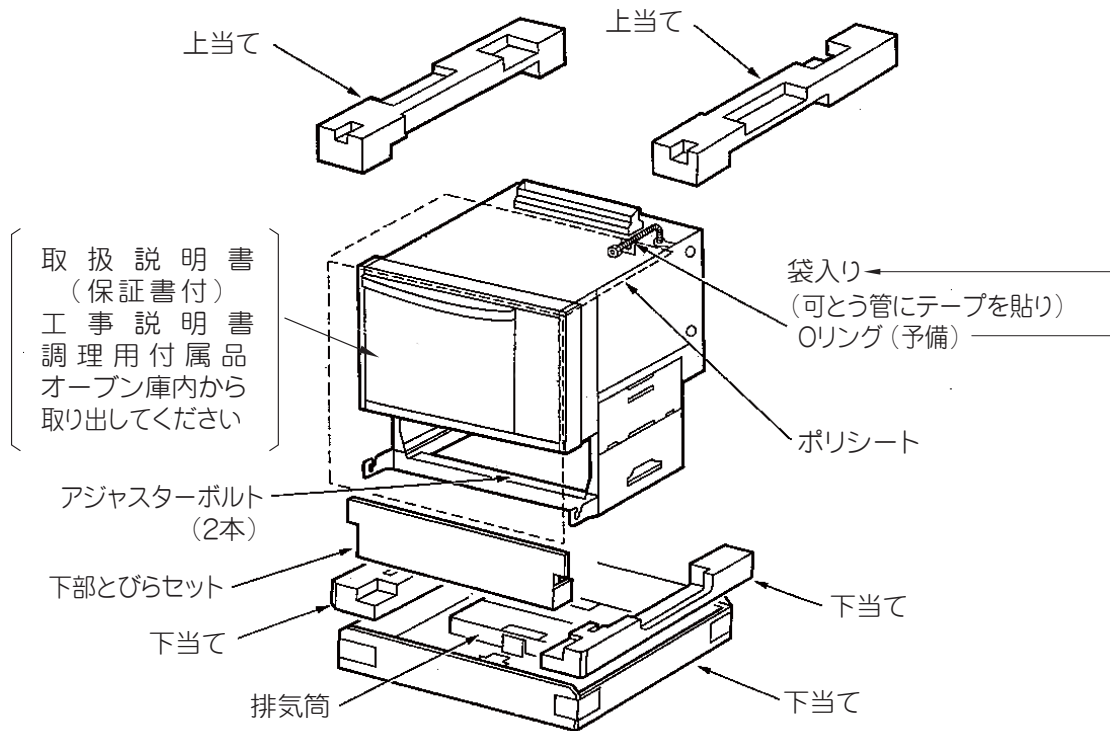
4. 設置場所のふん囲気について

- 水のかかる場所は部品の故障、ガラスの破損や漏電の原因になりますのでさけてください。
 - 丈夫で水平な場所に設置してください。
- ※設置場所の詳細は、ビルトインコンロ側の工事説明書も参照してください。

2.開こん

※イラストは機種により形状が異なります。







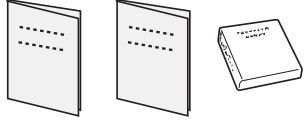
- 本体ダンボールを開けると図の通りに梱包されています。
- 上当て・下当てなどの緩衝材をすべて取り除き、オープン庫内の付属品を取り出してください。
- 下部とびらセットは、本体とは別になっています。緩衝用のダンボールを取り除いてください。






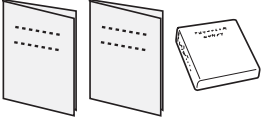
同こん部品の確認

設置を始める前に、種類と数をご確認ください。

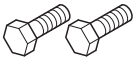

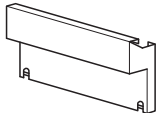
コンビネーションレンジタイプ オープン庫内の付属品

オープン皿 (2個) (角皿) 	ターンテーブル (1個) (丸皿) 	ターンテーブル台 (1個) 	角網 (1個) 
解凍網 (1個) 	オープン皿取っ手 (1個) 	取扱説明書 (保証書付) (1冊) 工事説明書 (1冊) クッキングブック (1冊)	

ガス高速オープンタイプ オープン庫内の付属品

オープン皿 (2個) (角皿) 	角網 (1個) 	オープン皿取っ手 (1個) 	取扱説明書 (保証書付) (1冊) 工事説明書 (1冊) クッキングブック (1冊) 
---	--	--	---

付属品及びその他・・・コンビネーションレンジ、ガス高速オープン共通

アジャスターボルト (2本)  ※台枠支持板 (前) に貼付	リング (1個) [予備] (コンロ取り替え時用)  (ポリ袋) ※ポリ袋にセットした状態で 金属可とう管に貼付	下部とびらセット (1個) 
---	---	--

3. 機器の準備

※イラストは機種により形状が異なります。

設置前の注意

■ビルトインコンロの確認

- 本機器と組み合わせて使用するビルトインコンロのガス種を確認してください。

⚠ 注意

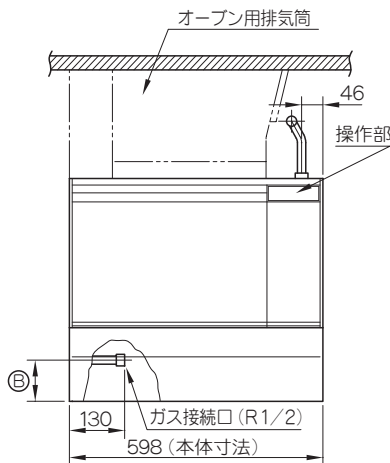


確認

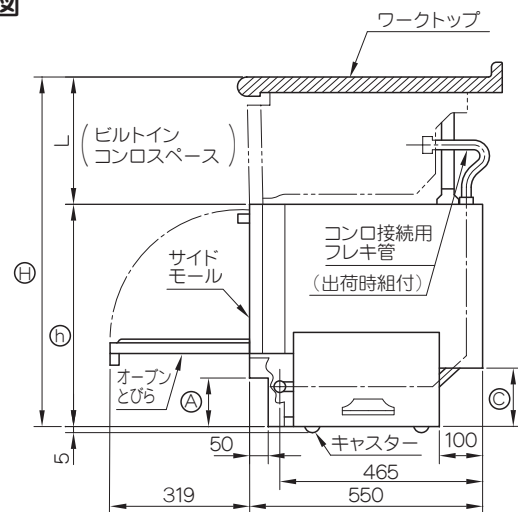
設置する機器が使用するガス種に適合していることを銘板（ガス銘板）で確認してください。

■設置寸法図

正面図



側面図



[単位:mm]

- 機器高さ(Ⓗ寸法)は480~540mmの範囲で7段階に調節できます。

	[単位:mm]							
ワークトップ高さⒽ	760	750	740	730	720	710	700	
機器高さⒽ	540	530	520	510	400	490	480	
ケコミ高さⒶ	120	110	100	90	80	70	60	
配管高さⒷ	103	93	83	73	63	53	43	
後部スペースⒸ	152	142	132	122	112	102	92	

- Ⓐ・Ⓑ・Ⓒの各寸法は表の通りです。

- 機器高さⒽはキャストの高さ寸法5mm含まず。

↑
出荷時

■機器高さⒽの確認

- ワークトップ高さⒽとビルトインコンロ高さLを確認してください。
- 機器高さⒽを(Ⓗ - Ⓓ)になるように10mm単位で調節してください。【図1】

[単位:mm]

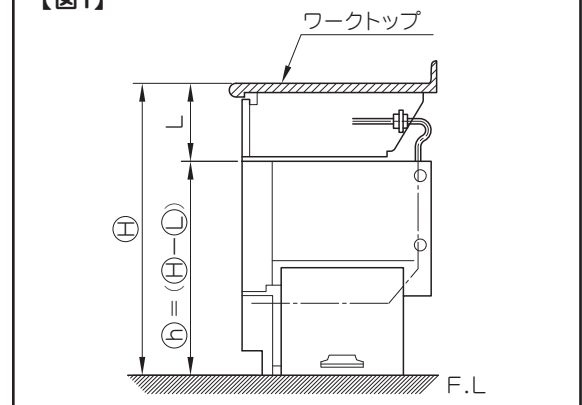
⚠ 注意



確認

- 設置作業にあたっては、ケガなどしないよう手袋や作業服を正しく着用してください。

【図1】



3. 機器の準備

※イラストは機種により形状が異なります。

1. 機器高さの調節

- ワークトップ高さ \oplus 710mm以外の場合は、機器の高さ \ominus を変更してください。

⚠ 注意



- 機器を倒したり、立てたり、移動したりする場合、床面などに傷をつけないように注意してください。（養生シートや古毛布などを使用してください。）

- 機器をうしろ向きに倒してください。
- 機器前面のネジ左右各1本、機器後面のネジ左右各1本、機器両側面のネジ左右各4本を取り外してください。【図2】【図3】

機器高さ和工作トップ高さの関係は下表の通りです。調節したい位置に付けかえて固定してください。

【図4】

[単位:mm]

ワークトップ高さ \oplus	機器高さ \ominus	側面固定位置
760	540	黒ネジ 左右各2本 ①
750	530	黒ネジ 左右各2本 ②
740	520	黒ネジ 左右各2本 ③
730	510	黒ネジ 左右各2本 ④
720	500	黒ネジ 左右各2本 白ネジ 左右各2本 ⑤
710	490	黒ネジ 左右各2本 白ネジ 左右各2本 出荷高さ
700	480	黒ネジ 左右各2本 白ネジ 左右各2本 ⑥

機器前面・機器後面は、穴の合った位置をネジで固定してください。（左右各1本）

- 固定がすんだら機器を元どおり立ててください。

機器の据え付け後、キャスターを収納すると機器高さ \ominus となります。

2. 排気筒（下）固定位置の確認または調節

※排気筒（下）の固定位置が「V」の位置にあることを確認してください。【図5】

もし違っている場合は、下記の要領で変更してください。

〔固定位置の変更〕【図5】

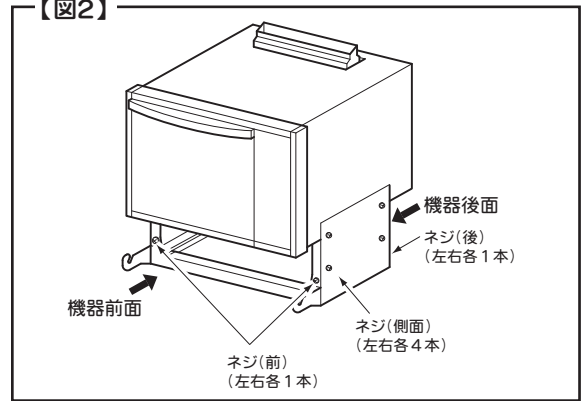
- 排気筒（下）固定ネジを少しゆるめてください。（左右各1本）
- 排気筒（下）の突起部を「V」の位置に合わせてください。
- 固定ネジを再度締めて排気筒（下）を固定してください。

⚠ 注意

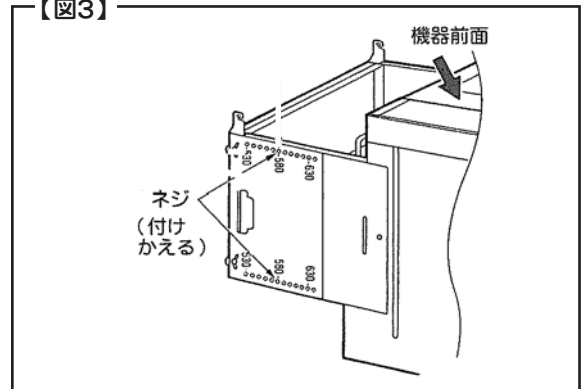


- 固定位置は、上記の「V」表示位置にしてください。
- 途中の位置では固定しないでください。

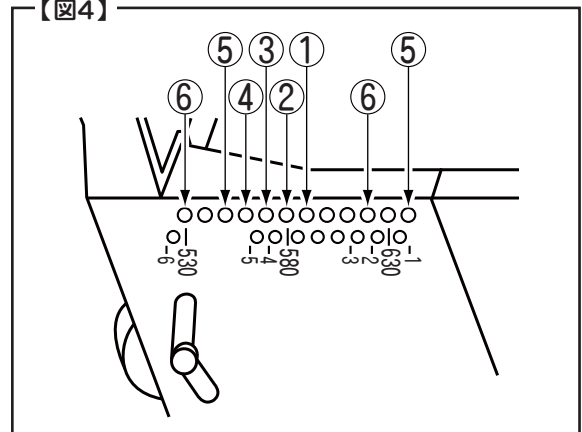
【図2】



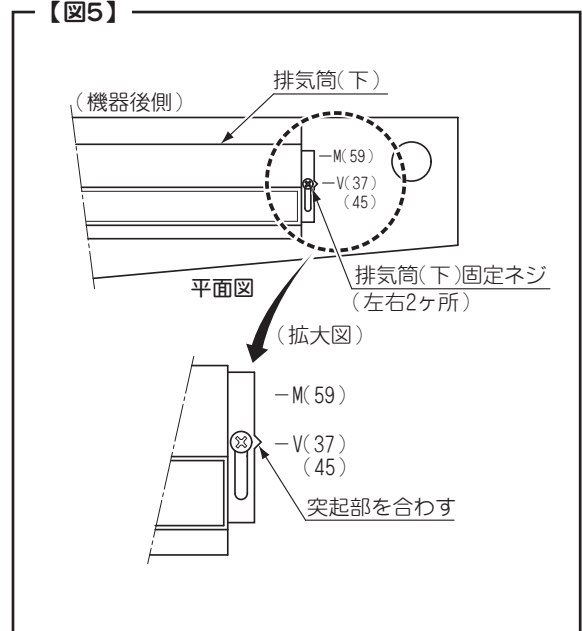
【図3】



【図4】



【図5】



4. ガス配管・電気工事

■ガス配管工事（ガス供給業者の指示に従ってください）

機器へのガス接続に必要な資格について

- 都市ガス用機器の場合、内管工事士、簡易内管施工士、ガス機器設置スペシャリスト、ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。
- LPガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。
（ガス機器設置スペシャリストは「燃焼器用ホース」の交換のみ施工可能）
なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。

1. ガス栓

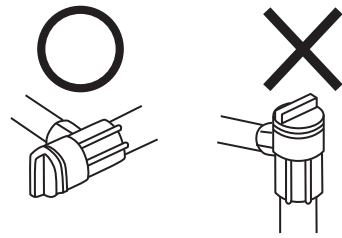
- 機器を設置する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても適切でない（位置、口径）場合は、新設または交換する必要があります。

2. ガス接続

- ガス接続部はR $\frac{1}{2}$ オネジになっています。必ず正しい接続部材を使ってガス接続してください。
- ガス栓（中間コック）は必ず取り付けてください。
- 中間コックのつまみは、必ず配管に対し水平方向になるように施工してください。万一、配管に対し垂直方向に施工したときはメンテナンス時に修理できない場合があります。

【図6】

（例）



【図6】

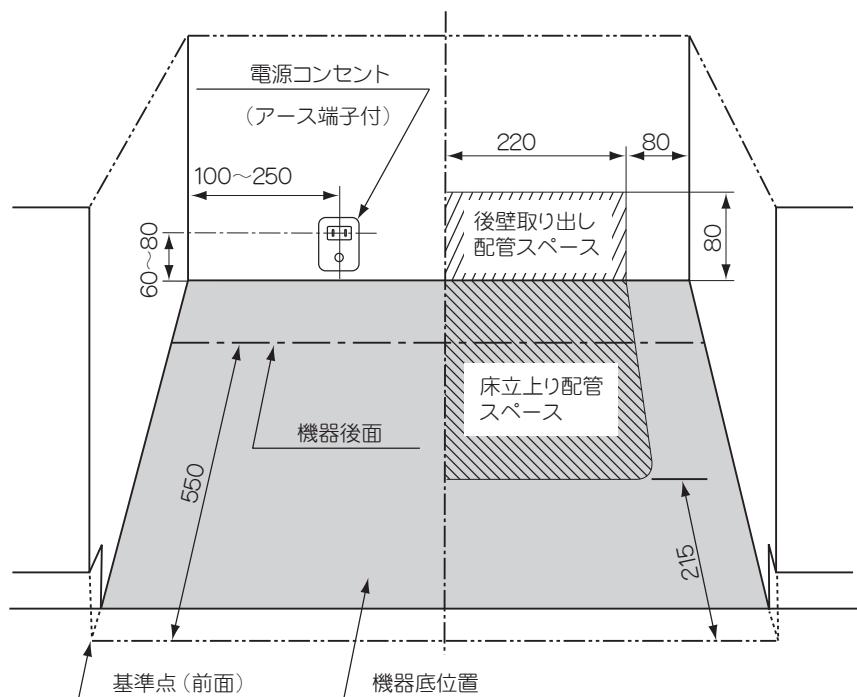
- 接続完了後は必ず漏えい検査をしてください。
- 配管位置は、**標準配管施工例** を参照してください。
- 機器を据え付けて室内配管と機器ガス接続口を金属可とう管で接続してください。

3. 施工業者の方へ

- ガス配管・電源コンセントの取り出し位置を確認してください。【図7】
- ガス栓は、機器の接続方法に従って取り付けてください。
- 工事終了後必ず施工者ラベルに所定の事項を記入し、ガス配管に貼り付けてください。

【図7】

[単位:mm]

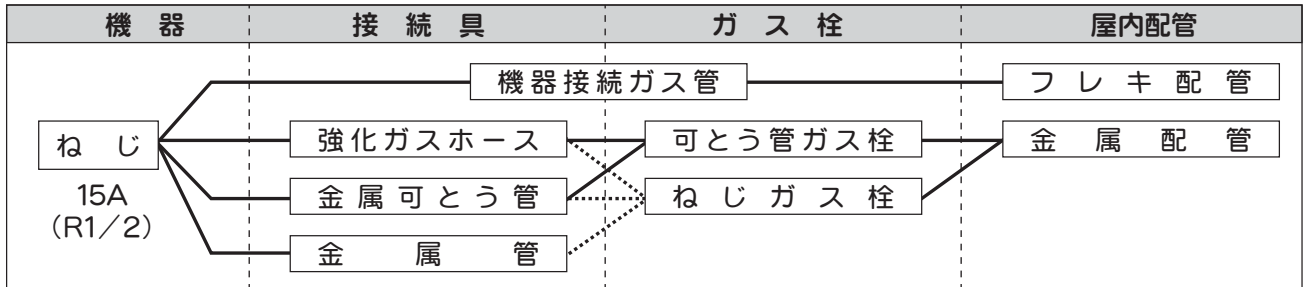


4. ガス配管・電気工事

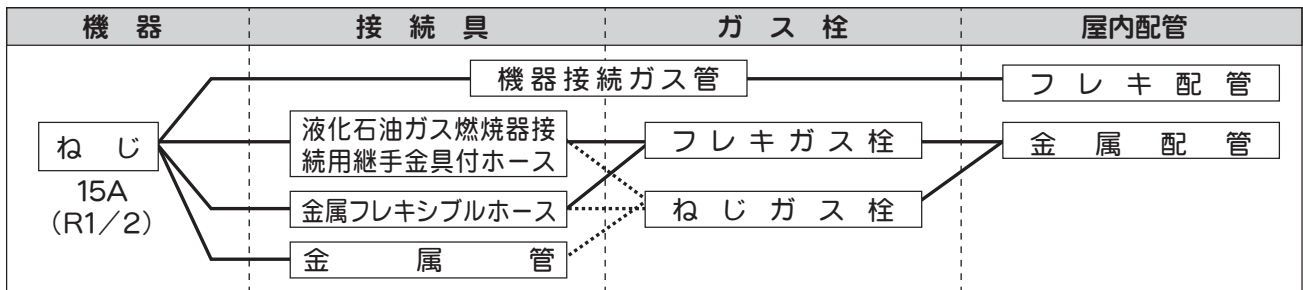
4. ガス配管接続工事方法

- 機器の接続方法

都市ガス



LPガス



⚠ 注意



確認

- ガス配管接続工事については有資格者による工が必要です。

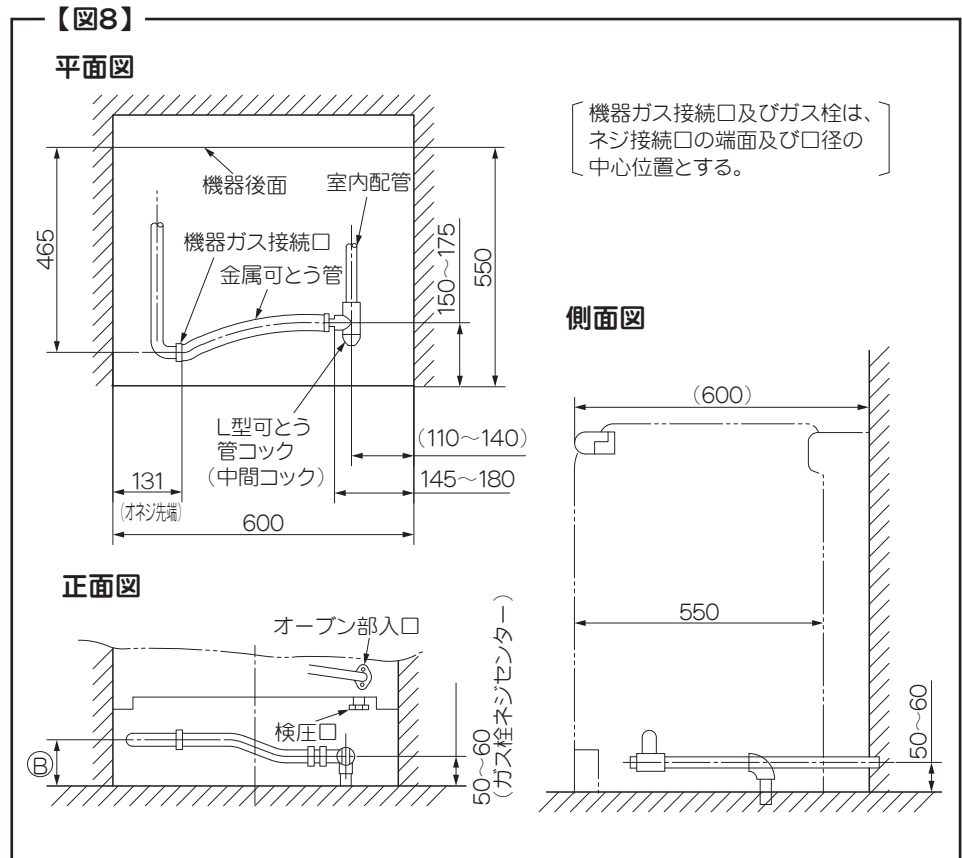
- 接続完了後は必ず漏えい検査をしてください。

5. 標準配管施工例

※ⓑ寸法はⓓ寸法（機器高さ）により異なります。次の表を参考して工事をしてください。【図8】

[単位: mm]

機器高さ ⓓ	ⓑ
540	103
530	93
520	83
510	73
500	63
490	53
480	43



4. ガス配管・電気工事

■電気工事

1. 電源コード接続

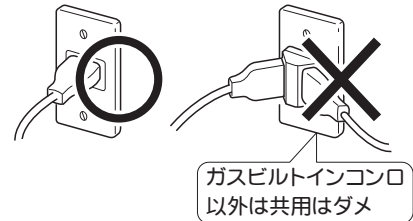
- 電源プラグは専用コンセントに差し込んでお使いください。
- 交流100V電源を必要とするガスビルトインコンロ以外の機器とは、共用しないでください。【図9】

電 源	交流100V・50・60Hz共用	
消費電力	コンビネーションレンジタイプ	1170W
	ガス高速オープンタイプ	90W

- 電源コードは後方へ引き回し、電源コンセントに差し込んでください。
- 特に電子レンジとしてお使いの場合は、同一ブレーカー回路でトースターや電気炊飯器などの電熱機器電源を共用で使わないでください。
- テレビ、ラジオの雑音や映像の乱れを防ぐため、テレビ、ラジオなどを3m以上離してください。また、できるだけ別のブレーカー回路でお使いください。
- 電源コンセントはアース端子付きのものを推奨します。

【図9】

コンビネーションレンジタイプの電気容量は交流 100V15A 以上のこと



⚠ 注意



- 接続作業は必ず専門の業者におまかせください。

確認

2. アースについて

- 万一の感電防止のためにアースを取り付けてお使いください。
- アースの取り付けは販売店または電気工事店にご相談ください。
- 次のような場合は必ずD種接地工事（第3種接地工事）【接地抵抗100オーム以下】をするよう法律で義務づけられています。

- ※湿気の多い場所
- うどん屋さん、そば屋さんなどのように水蒸気の充満した場所。
 - 土間、コンクリート床の場所。
 - 酒、しょうゆなどの醸造、または貯蔵する場所。

- ※水気のある場所
- この場合は漏電遮断器の取り付けについても義務づけられています。
- 魚屋さん、八百屋さんの作業場などの水を取り扱う場所、その付近の水滴が飛散する場所。
 - 常に水が漏出したり結露する場所。

[ご注意]

- アース線はガス管や水道管、電話専用のアース線には絶対に接続しないでください。

5. 機器の設置

1. 機器の挿入

- 電源コード・アース線を機器後面より取り出し電源コンセントに接続して床面にはわしてください。
- 機器が挿入しやすいように、フレキ管を床面にはわしてください。
- 機器をキャビネット内に挿入してください。【図10】

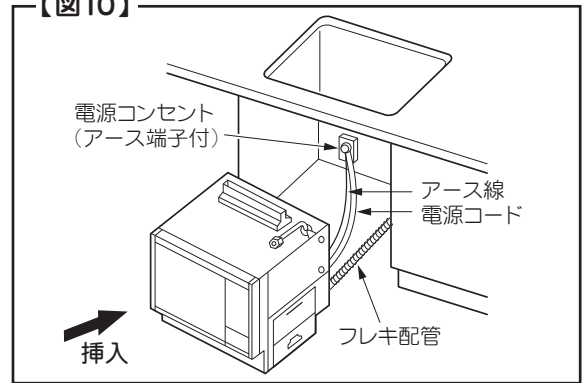
⚠ 注意



確認

- 機器は水平でしっかりした床面に設置してください。
- 機器を設置するときは床面などにキズをつけないよう注意してください。

【図10】



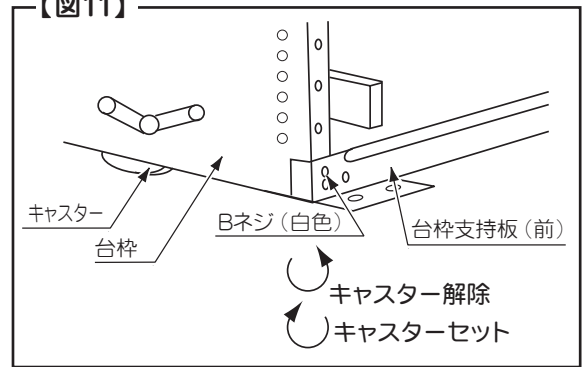
2. 機器の据え付け

- キャビネットのとびら前面と機器のサイドモール前面とのツラを合わせてください。
- Bネジ(左右・各1本)〔白色・前面矢印部〕を左方向へ回転してキャスターを台枠内に収納してください。約5mmほど機器が下がります。【図11】

【ご注意】

機器を引き出す場合は、Bネジ(左右・各1本)を右方向へ回転すると再びキャスターが出ます。

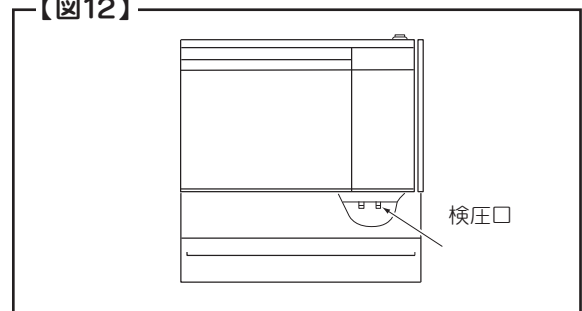
【図11】



3. ビルトインコンロとの接続

- ビルトインコンロを設置後、機器のコンロ接続用フレキ管を利用して、ビルトインコンロの接続を行ってください。詳細についてはビルトインコンロ側の工事説明書を参照してください。
- 台所のガス栓を使ってガス漏れを確認してください。検圧口はオープン入口部の近くにもあります。(機器前面右側下部) 【図12】

【図12】



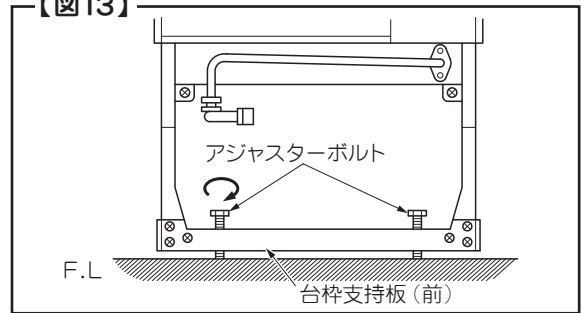
5. 機器の設置

機器の高さ調節

1. 機器の移動防止及び高さの微調節

- キャビネットのとびら前面と機器のサイドモール前面とのツラを合わせてください。
- ビルトインコンロと接続した後、付属品のアジャスターボルト2本を台枠支持板（前）に取り付け、機器の移動防止及び高さの微調節を行ってください。 【図13】

【図13】



⚠ 注意



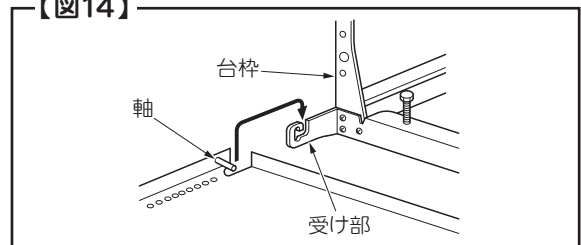
確認

- オープンとビルトインコンロとのスキ間は、5mm程度とし、ビルトインコンロが浮き上がらないよう注意してください。
- 機器の位置ズレ防止のためにアジャスターボルトは必ず締め付けてください。

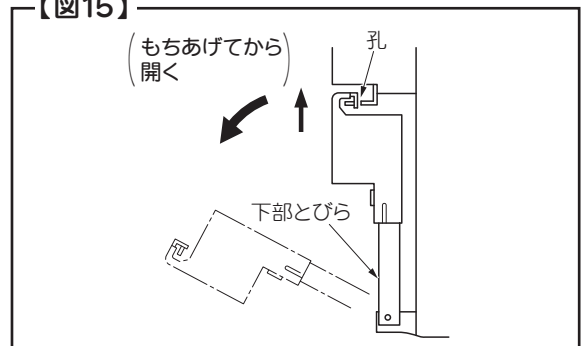
2. 下部とびらの取り付け及び高さ調節

- 下部とびらは、機器の高さ H =490mm用に設定されています。
- 下部とびらの軸を台枠の受け部へはめ込み、上下方向に可動することを確認してください。 【図14】
- 下部とびらを開閉して、上部の孔部にはめ込みが確実か確認してください。 【図15】
- 下部とびらのはめ込みが合わない場合は、Cネジ（黒色、左右・各1本）を少しゆるめて調節してください。（取付け穴が長穴になっていますので微調節できます。） 【図16】
- ワークトップ高さによって、機器高さ H を変更した場合は、Cネジ（黒色、左右・各1本）を取り外し、下部とびら上、下を機器高さに合う位置に付けかえてください。
- 下部とびらの高さ調節穴位置は、台枠部の機器高さ H 調整用の穴位置と同じ関係（ピッチ10mm）になっています。
- 下部とびら上部、下部を取り付ける場合は、Cネジをゆるめに取り付けて、下部とびらをはめ込んでから再度ネジを締め付けてください。

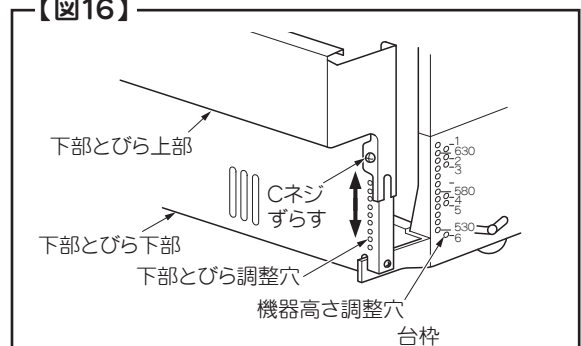
【図14】



【図15】



【図16】



[ご注意]

オープンとびらと下部とびらの開閉が確実か確認してください。

◎ 設置工事が終わりましたら **設置工事後の点検確認** のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。

